

## 新任医師の紹介



医師 立花 紳吾 【診療科】内科（循環器）

よろしくお願いいたします。



医師 長瀬 貴明 【診療科】整形外科

山形大学から移動してきました長瀬貴明と申します。初めての新庄でドキドキしています。至らない点多々ありますが、何卒よろしくお願いいたします。



医師 平野 雄介 【診療科】耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科1年目の平野雄介と申します。福岡に2019年3月まで在住しており、山形に来て日は浅いですが、新庄の方々の優しさをととても感じています。どうぞよろしくお願いいたします。

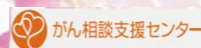
## 患者サロン「晴れ晴れ」のご案内

当院ではがんに悩まれている方やそのご家族を対象に、月1回患者サロン『晴れ晴れ』を開催しています。ここでは、それぞれが抱えている悩みや不安を気軽に話し、より良く過ごせるきっかけ作りの場となるよう、取り組んでいます。

これまでに、院内の栄養士による『おいしく食べよう～がん治療中の食事の工夫～』や薬剤師による『がんの治療薬について知ろう～話題になったオプジーボって？～』など様々なテーマを設け、がんの治療や生活についてお茶を飲みながら語り合い、多くの方に笑顔でお帰りいただいています。参加費は**無料**、**予約不要**です。開催予定表は院内電光掲示板やエレベーターなどへ掲示し、最上地域の各市町村へは半年ごとに予定表をお送りしております。サロンについてご質問などありましたら、当院がん相談支援センターがん相談員までご連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。



問い合わせ先 山形県立新庄病院 がん相談支援センター TEL：22-5525



# んだじゅ通信 vol.19



山形県立新庄病院 地域医療部  
〒996-0025 新庄市若葉町12番55号  
TEL.0233-22-5525 (代表)  
FAX.0233-28-7277 (直通)

令和2年2月発行

## 新年のあいさつ

院長 八戸 茂美

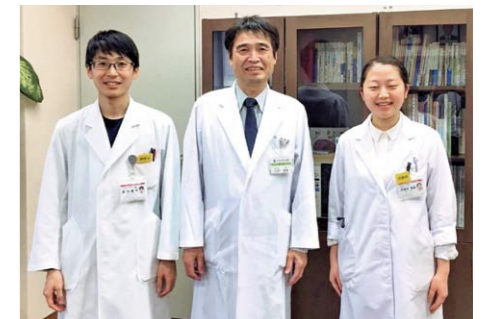
あけましておめでとうございます。旧年中は、当院の運営に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。災害大国日本と覚悟していたつもりでも年々その被害は増大し、発災場所も予期せぬものとなってきました。加えて新年は、世界が新型コロナウイルスの大流行に直面する事態です。当院は基幹病院として、これからも新情報には迅速に対応し、かつ皆さまに提供してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて今年度は、より地域から信頼される病院となるために「接遇の改善」をテーマに掲げるとともに、連携を密にするための新地域医療部長の各診療機関訪問から始まりました。しかし、確実に進む少子高齢化と人口動向の地域差拡大、さらに記録的暖冬の影響もあってか、外来、入院延べ患者数は昨年と比較やや減少して推移しました。どうぞ引き続き当院へのご紹介と忌憚のないご意見もいただければ幸いです。

一方、今年度の当院の大きな課題は「新病院改築基本設計作成」と新病院を見据えた「病棟再編」、そして「医療情報システム更新」でありましたが、お蔭をもちましてこれらすべてを旧年中に達成したことを報告いたします。

医療界では今、2040年の医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想、医師・医療従事者の働き方改革、医師の偏在対策の三位一体改革が進んでいます。これを受けて開会された県地域医療対策協議会では、23年度までに県全体で新たに80人の医師を確保する方針を確認するとともに、新年度から修学資金貸与医師らを対象に各病院への派遣調整を行うこととなりました。また新病院開院に向けても、大学からの医師派遣の動向に明るい兆しが見えます。職員一同これからは正念場と粉骨砕身の思いで臨みますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

すべては地域住民のために。



八戸院長と山大実習生の鈴木さん(左)、田部井さん(右)



## 医療連携懇談会を開催

令和元年10月29日(火)に第8回目となる「医療連携懇談会」を新庄市最上郡医師会様との共催で開催しました。

限りある最上地域の医療資源を有効に活用し、地域住民へ良質な医療を提供するためには、医療関係者の連携強化が不可欠であり、“顔”の見える連携を実践するため、継続してこの懇談会を開催してきました。

今回も医療機関(医科・歯科)の先生方、当院の先生方の参加をいただき、当院八戸院長並びに新庄市最上郡医師会三條会長のあいさつの後、当院の転入医師の紹介、各医師会出席者の紹介に続き、その後の議論の活性化につながるよう、石山副院長から話題提供がありました。

石山副院長の話題提供は『基本設計完了「これが新しい新庄病院だ!!」～新たに始まる地域連携～』のテーマで、新築に係る基本設計の内容、特に救急医療体制の概要の説明を行ったほか、昨年10月に実施した病棟再編、12月に実施した新医療情報システム更新等、当院の最新の情報を説明させていただきました。

その後、意見交換が行われ、紹介関係の質問等、医療機関の先生方が疑問に思っていること、または要望等が出され、これらに院内関係者が答えるなど終始和やかな中にも、有意義な時間を過ごすことができました。

仁木地域医療部長体制となり初めての開催でしたが、次回以降もより充実した内容となるよう、地域医療部一丸となって頑張ります。



■ 伊藤会長 ■

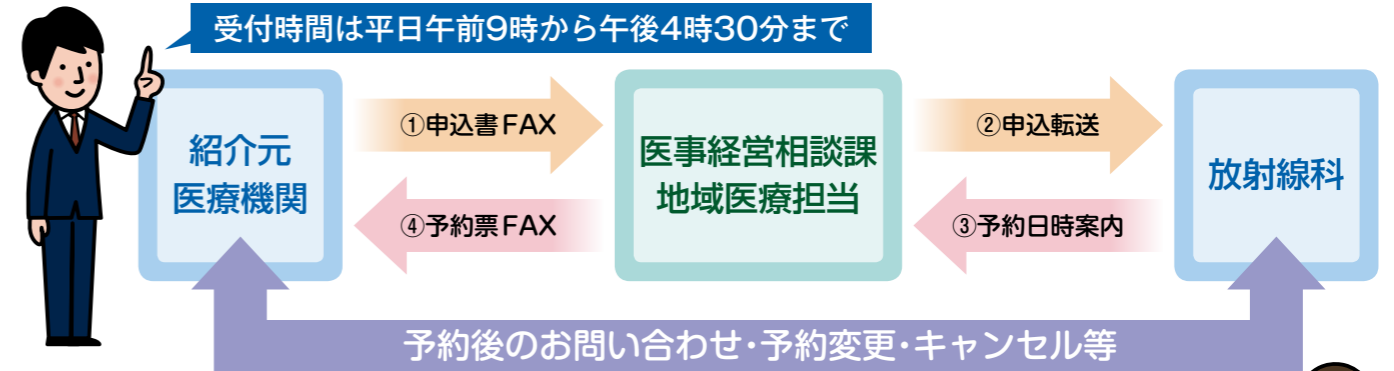
■ 三條会長 ■

■ 八戸院長 ■

■ 石山副院長 ■

## 放射線科の依頼検査(CT・MRI・骨密度・核医学)がFAX予約になりました

各医療機関から当院に患者さんを紹介していただく場合は、地域医療部が窓口になっておりますが、放射線科の検査予約のみ直接電話予約になっておりました。このたび、電話による予約内容の伝達ミスなどを未然に防止するため、予約方法を各診療科同様、医事経営相談課の地域医療担当にFAXしていただき、放射線科に繋ぐ方式に変更することにいたしました。

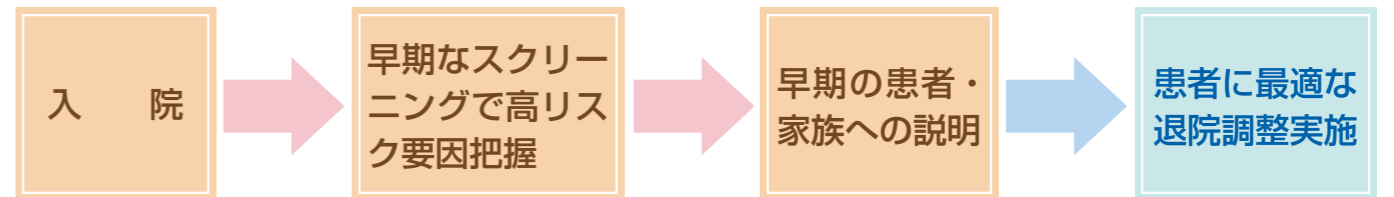


開業医の先生方には新しい予約方法に慣れていただくまではお手数をおかけしますが、何とぞご理解をいただき、新しい予約方法についてのご協力をお願いいたします。

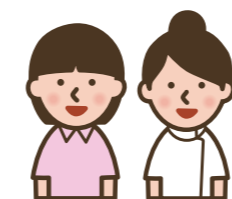
なお、予約後のお問い合わせ、予約変更、キャンセルなどは放射線科受付(病院代表内線1503)をお願いします。

## 退院支援の強化

新庄病院では、患者様、ご家族の方が退院後どのような暮らしを望んでいるかを伺い、可能な限り希望に沿った支援を行うため、令和元年11月より担当看護師2名を増員し、支援体制を強化いたしました。



### 今回特に機能を強化した部分



今後も、患者様のスムーズな在宅復帰、地域移行を目指し、関係機関と連絡調整しながら、退院支援を行ってまいります。

入院中の事、病気に対する不安、退院後の心配事などについては、入退院支援スタッフにお気軽にご相談ください。